

Tezukayama

大学通信帝塚山

University Letter
2013.12.25

No.34

特集

Special Feature

祝・帝塚山大学創立50周年

伝統と革新「次の50年にむけて」

岩井 洋 学長

50周年を彩る“50”のプロジェクト



「第2回あさごアートコンペティション2013」大賞受賞！

6 キャンパスレポート

10 研究室訪問

12 クラブ・サークル活動

14 卒業生紹介

15 クローズアップニュース

16 帝塚山 NEWS&TOPICS

18 お知らせ・イベントニュース

人と人と社会、今と未来を結ぶ
絆

KIZUNA

www.tezukayama-u.ac.jp/kizuna/

 帝塚山大学
TEZUKAYAMA UNIVERSITY

祝・帝塚山大学創立50周年

伝統と革新「次の50年にむけて」

帝塚山大学学長 岩井洋

1964年4月、帝塚山大学は「教養学部 教養学科」のみの女子教育を行う単科大学として開学しました。そして、「広い国際的視野の上に、日本人としての深い自覚と高い識見を持ち、社会の要請にこたえ得る教養と創造力を備えた人材を育成する」ことを、建学の理念として掲げました。当時、教養学部を持つ大学は、東京大学をはじめ数少なく、本学に対する社会の期待は大きいものでした。その後、優れた教授陣と教育内容により、「女子教育の帝塚山」という名声を博するまでになりました。

87年には、時代の要請に応え、男女共学の経済学部を設置するのにもない、大学は男女共学へと移行しました。その後、学部学科増設等を経て、開学時には入学定員わずか150人でスタートした本学は、6学部9学科、4研究科、入学定員1240人を擁する総合大学へと発展しました。そして、2014年には創立50周年をむかえ、人文文学部を文学部に改称するとともに、文化創造学科を開設します。

創立50周年を機に、本学は、奈良にある大学としてのアイデンティティを再確認するとともに、大きな課題です。

「論語」には、「五十にして天命を知る」とあります。これにしたがえば、創立50周年を迎え、本学もあたえられた使命をいまだ自覚する時期にあるといえます。建学の理念と、「教育力が強い」「学生への教育・支援がきめ細かい」「地域や国際社会に開かれた」大学というモットーを再認識するとともに、「地域に愛される大学」をめざすべく、努力を続けてまいります。次の50年にむけて、皆

ともに、奈良で学ぶことの意義と意味を再認識すべきであると思います。文化創造学科の開設は、まさにそのような思いによるものです。学生がおもむく奈良県内の場所は、すべて本学のキャンパスであるという「奈良まるごとキャンパス」構想のもと、奈良の伝統文化にふれ、そこから新しい文化を創造し、国内外に発信していくことが、文化創造学科のめざすところです。したがって、文化創造学科は、奈良発の「クールジャパン学科」といいかえてもよいかもしれません。つまり、「カッコいい」日本文化を創造し、国内外に発信していくわけです。

さて、文化創造学科が伝統に学び、新しい文化を創造することをめざすように、本学も50年の伝統に学び、それを革新していく必要があります。伝統は、常に革新を繰り返すことで受け継がれていくものです。本学には、人的な資産に加え、歴史的・民俗的な資料・史料や所蔵品をはじめ、短期大学時代からのものも含め、他大学にはない特色ある教育資産が多くあります。大学の貴重な資産を掘り起こし、大学の活性化に活用し、さらなる大

様のさらなるご支援を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。



岩井洋 学長

帝塚山大学の未来は果てしなく、進化はとまりません。

奈良の大学であることを再確認し、奈良に眠る資源を次の50年に生かそうと「奈良まるごとキャンパス」というコンセプトが生まれました。このコンセプトに沿って、新たな知識を創造する3つの計画を事業化しています。

2014年4月 文学部の設置

「日本文化学科」と「文化創造学科」の2学科を統合するにふさわしい学部名として、「人文学部」を「文学部」に改めます。

2014年4月 文学部文化創造学科の設置

新しい文化を創造すると共に、広く国内外に表現・発信し、社会や地域に貢献できる人材を養成する目的で新たに「文化創造学科」を文学部に設置します。

アクティブ・ラーニングスペース「C³」の整備

「ラーニング・コモンズ」（学生が集い、議論し、ともに学習するスペース）と呼ばれる、「個」から「共同」に変化する創造的で新たな学びの場となる設備を奈良・東生駒キャンパス内に整備しました。

帝塚山大学創立50周年スペシャルサイトを開設！



「50年の歩み」では開学から現在までの大学の歴史がわかり、創立50周年記念事業としての「文化創造学科」や「帝塚山大学歴史館」の情報を伝えています。続々と企画が進行中の「50のプロジェクト」「50周年記念式典」「50周年記念グッズ」などを紹介する

「記念事業」など、情報満載のスペシャルサイトは帝塚山大学ホームページからアクセスできます。

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/50th/>

シンボルマーク

奈良のイメージを喚起させる、五重の塔、鹿と帝塚山大学のシンボルである時計台、16号館を大地に据え、今後の50年を大地に根を張り、歩んで行くことをシンボルマークで表現しています。また、帝塚山大学が教養学部からスタートし、今後も教養教育の発展をリードする無限の可能性をコピーに込めています。



歴史・文化を現代・未来に生かす新学科

文学部文化創造学科の 新任教員をご紹介します！

帝塚山大学では、あらたに古都奈良の魅力を生かした「文学部文化創造学科」を開設します。ここでは新たに着任される先生方をご紹介します。



文化財の宝庫である奈良をまるごとキャンパスにして、あらゆる文化情報をデジタル化し、コンピュータで分析して、世界の文化と比較する時空間情報科学を推進しています。

Message

学生たちとフィールドで情報を集め、世界に発信したいと思います。

宇野 隆夫 教授 博士(文学) 時空間情報科学/考古学GIS



観光英語を用いて京都、奈良を中心とした神社仏閣など(仏像、庭園などを含む)を英語でわかりやすく説明できるように研究実践を行っています。また、北米でのアーミッシュ、メノナイト、フットライトと呼ばれる再洗礼派集団の研究も続けています。

Message

英語の実力を身につけて、自分の可能性を広げましょう。新しい世界が君たちを待っています。

小坂 幸三 教授 M.A. 観光英語研究/アメリカ研究



奈良と仏教をメインテーマとして、人物に焦点をあてながら、日本の歴史・思想・文学・美術を総合的に見つめ、思い、書き、生きた言葉で語る活動を続けています。

Message

奈良の魅力を学びながら、お寺や神社の人たちとも交流しましょう。

西山 厚 教授 文学修士 仏教史/美術史

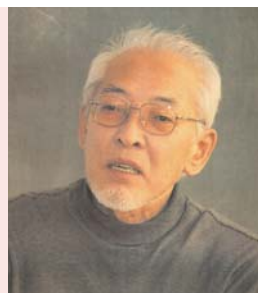


畿内、特に正倉院宝物と、奈良の国宝を中心とする文化財の動画映像によるアーカイブ化とともに奈良が誇る考古学研究成果をテレビ・ラジオを通じて映像発信しています。

Message

映像で表現し、対象に迫り、発信できる人材を育てたい、と思います。

牟田口 章人 教授 文化財映像アーカイブス/ジャーナリズム



どうすれば地域を持続あるものにできるのか? 地域の人々と行政や大学との「共働」をどのように進めるのか? 各地域での将来像の確立を促し、その実現を支援しています。

Message

地域へ出かけ、地域の人々とともに地域の将来を切り開こう!

村田 武一郎 教授 博士(工学) 地域開発/地域計画/地域産業政策



日本の伝統文化を現代的かつグローバルな観点から捉えていきます。そして、精神文化、芸術・芸能、モノづくり、景観・環境など、伝統世界で培われた文化・芸術財を現代の資源として活用する方法を研究します。

Message

「創造的なものとは何か?」それを考えていきましょう。

笠谷 和比古 教授 博士(文学) 歴史学/伝統文化論



日本を含むアジアのさまざまな社会でフィールドワークを行っています。最近では主に伝統産業の研究をしています。

Message

奈良から世界に向けた新しい文化の発信を、ともに楽しみましょう!

河口 充勇 准教授 博士(社会学) 比較社会学/華人社会研究/社会調査



能の演出の変化や歴史について研究しています。不変のイメージが強い伝統芸能ですが、実は長い歴史の中でさまざまな変化を経て来たことを、演技譜などの資料をもとに探っています。

Message

見る者の心に響く能の世界を、一緒に体験してみましょう。

恵阪 悟 講師 修士(文学) 中世芸能/能楽

祝・帝塚山大学創立50周年

平成26年度大学創立50周年に向けての記念事業を行うため、「大学創立50周年ワーキンググループ」が発足しました。さらに各種企画を推進するプロジェクトチームを立ち上げ、今年から来年にかけて各種プロジェクト企画が行われる予定です。

50周年記念 式典

創立50周年の記念式典を
2014年10月4日に
挙行いたします。



大学創立50周年ワーキンググループ

50のプロジェクト

創立50周年を記念して、「50」にちなんだプロジェクトを展開しています。今後は学生や教職員だけでなく、保護者や同窓生、地域の人たちが参加できるプロジェクトを進めていきますので、ご協力をお願いいたします。

- 1 アクティブラーニング・スペース「C³ (シーキューブ)」の名称募集・決定
- 2 アクティブラーニング・スペース「C³ (シーキューブ)」の公式オープン
- 3 学内無線LANサービス開始、情報システム改良による教育環境整備
- 4 学生用パソコン起動時に「大学創立50周年ロゴマーク」をモニター中央に表示
- 5 平成25年度虹色祭(大学祭)にて、特別展示「図書館所蔵資料から振り返る帝塚山大学50年史」を開催
- 6 学内設置のデジタルサイネージを活用し、「大学創立50周年」のメッセージを学内で流してPR
- 7 第2回帝塚山大学ホームカミングパーティを開催
- 8 「謎の数字」6枚の立看板を活用した「大学創立50周年」告知

Pick up! 1 帝塚山大学学長推薦! 50選の書籍フェア

(2014年4月30日まで)
「啓林堂書店学園前店(バラディ内)」で、帝塚山大学と啓林堂書店とラ・カフェ・バナナの三者による地域貢献型コラボ企画として、「帝塚山大学学長推薦! 50選の書籍フェア」を開催しています。フェア対象の書籍を購入された方には、バラディ4階ラ・カフェ・バナナのドリンク半額券をプレゼント。
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/topics/2013/10/29/501030.html>
<http://www.books-keirindo.co.jp/blog/top/50.html>



Pick up! 2 AKB48「恋するフォーチュンクッキー 帝塚山大学バージョン」

大学創立50周年を盛り上げる学生企画として「恋するフォーチュンクッキー」のパロディ動画を撮影しました。動画は帝塚山大学ホームページからアクセスできます。
<http://www.youtube.com/user/TEZUKAYAMAUNIVERSITY>



帝塚山大学 歴史館の 整備

詳細はP15

これから始まるプロジェクト企画

- facebookで学生・保護者・同窓生を巻き込んだ参加型50周年記録の作成
 - 在学生向け大学創立50周年オリエンテーション教材(自校教育)の作成
 - 恩師×学部学科卒業生×在学生鼎談として、創る・教える・学ぶことへの想いを語る
 - 「同窓生50×在学生50」プロジェクトとして、社会で活躍する同窓生と在学生が「職業・仕事・働き方」をテーマに世代を越えた交流を促進する
 - 在学生×同窓生懸賞論文コンテストとして、帝塚山大学への想いをテーマに表現する
- 今後は学生や教職員だけでなく、保護者や同窓生、地域の方々が参加できるプロジェクトを進めていきますので、ご協力をお願いいたします。

50周年記念 ホームカミング パーティ

大学祭開催中の母校で、
学生時代のひとときを
思い出すイベントを
実施します。



06 現代生活学部 食物栄養学科
 「好きな野菜、嫌いな野菜」を調査

厚生労働省が定める第2次健康日本21においても、一日350g以上の野菜を摂取することが目標とされていますが、現状は約280gと70g足りていません。特に体を作る学童期はビタミンやミネラルを欠かすことができないのに、子供は全般的に野菜が嫌いです。稲熊ゼミでは、併設小学校の児童・保護者の協力を得て「子供の好きな野菜、嫌いな野菜」を調査し、その理由を考え、野菜の選び方、料理の仕方などの提案に取り組んでいます。

07 現代生活学部 こども学科
 読書環境充実プロジェクト



「活字離れ」と言われているように、学生は活字から遠ざかる傾向があります。これに対して小学校では、読書の時間が設けられるなど、1か月の平均読書冊数が増える傾向があります。小学校教員を目指すこども学科では、学生に読書を促すために、読書環境充実プロジェクトを立ち上げました。具体的な取り組みは次の3つで、①18号館入り口にて本を紹介、②18号館の自習室にも本を設置、③18号館の廊下壁面に「実践記録を読もう」とPRしています。

08 現代生活学部 居住空間デザイン学科
 建築CAD検定で最優秀受験学校として表彰される

居住空間デザイン学科では製図の基本を習得するために手書きの図面を作成する授業を行っています。実務ではCADが多く使われているため、建築CADの授業も行っています。本年度は全国建築CAD連盟が実施している建築CAD検定の合格率が上がるように指導を強化し、学生は空き時間にパソコン室で練習に励みました。その結果、25年度は受験校の中で最高の合格率93%が得られ、最優秀受験校として表彰されました。



09 法学部 法学科
 万全の教育体制・警察官合格者続々!!

2013年度第1回入学前準備セミナーにて、奈良県警察採用試験に合格している法学部4年生の寺尾亮太郎君(福岡県出身)が、来年度本学部入学予定の高校3年生に対して、奈良での一人暮らしについてアドバイスをしたり、採用試験合格に向けた4年間のスケジュールについて話しました。法学部ではこれまで、「警察官実務講座」「警察研究」「警察実務演習」「警察組織と警察実務」などの講義を充実させた結果、11月の時点で奈良県警4名(うち女子1名)、大阪府警6名(うち女子1名)、警視庁1名の合格者が出ています。その他にも「消防研究」や「消防官実務講座」「ビジネス実務講座」「キャリア特訓塾」等の講義も併せて受講することで、将来の進路について備えは万全です。



10 心理学部 心理学科
 ゼミナール登録はじまる!

11月になり、2年生がたくさん10号館を訪れています。10号館は教員の研究室や実習室などが集まっている棟です。本学科では、毎年11月に2年生のゼミナール(ゼミ)登録があります。ゼミ説明会(今年は11/8)があり、1次登録の締め切り(11/21)までに、自分にあったゼミを選ばねばなりません。ゼミは、自分が本当にしたい勉強や研究ができる少人数型の授業で、3・4年生の2年間あります。そのため、自分が研究したい領域について指導してくれる先生をみつけなければなりません。そこで、1次登録までの約2週間、先生方の研究室を訪問したり、ゼミの授業参観をしたり、先輩に相談したりしながら、ゼミを決めます。それで、10号館の廊下は学生でいっぱいになり、ある先生のゼミの授業は、参観する学生で教室があふれかえっています。心理学科では、楽しいシーズンのひとつです。



01 人文学部 日本文化学科
 正倉院展のための特別講座と正倉院展見学を実施!

10月29日、奈良の秋の一大イベント「正倉院展」のための特別講座を行いました。関根俊一教授(美術史)「正倉院展の見どころ(宝物編)」、鷺森浩幸教授(古代史)「正倉院展の見どころ(文書編)」のテーマでリレー講義。多くの学生が参加し、熱心に聞いていました。予め知識を得たうえで、11月1日夕方に学外実習の一環として正倉院展を見学しました。閉館までねばる学生など聞いて、改めて学生の向学心に気づかされました。

02 人文学部 英語コミュニケーション学科
 TOEIC IPテスト実施

10月26日(土)の13:00から、英語コミュニケーション学科2年生、3年生の全員を対象としたTOEIC IPテストを1301教室(1号館大講義室)で実施しました。当日は台風27号の接近で、実施の可否を判断することが直前まで困難でしたが、幸い進路がそれ、学生たちも安全に登校、受験することができました。学科では例年、1年生には、TOEIC Bridgeテストを、2、3年生にはTOEIC IPテストを実施しています。学生たちは日ごろ、カリキュラム内の英語資格科目や、留学プログラム等を通して英語運用能力を研じていますが、一堂にこれらのテストを受験することによって、それぞれのさらなる学習への動機を新たにしています。今回のTOEIC IPテストでも、リスニングセクション100問とリーディングセクション100問という、2時間の長い集中力を必要とする試験にも、真剣に取り組んでいました。今後も引き続きよい研鑽が積めるように願っています。



03 人文学部 日本文化学科
 多摩大学との合同ゼミ
 「東アジアのなかの飛鳥寺」を開催

10月28日、多摩大学のインターゼミ・アジアダイナミズム班との合同ゼミを開催しました。多摩大学から教員2名・学生6名を迎え、鷺森浩幸教授・清水昭博准教授と学生4名とともに、なごやかな雰囲気の中で報告・レクチャーなどが行われました。飛鳥寺を題材に飛鳥時代の歴史や東アジアとのつながりを考えるという内容で、短い時間で両学の学生がすぐに打ち解けるとまではいかなかったようでもありましたが、貴重な機会でした。



04 経営学部 経営学科
 県中小企業家同友会と連携協定を締結

本学と奈良県中小企業家同友会は7月30日に2013年連携協定を締結しました。中小企業家同友会は、全国約42,000社の経営者が会員となり、日々経営のさまざまな課題について例会を開き切磋琢磨しています。今回の連携では、経営学部が窓口となっており、10月24日に本学で例会が開催されました。経営者50名と学生40名余りが「経営者への期待?学生への期待?」というグループディスカッションを通じ、学生の考えていること、経営者の考えていることについて改めて考えるきっかけとなりました。近年、地元での就職を希望する学生も増加してきており、このような交流が、相互理解の上での就職のきっかけに発展して行くよう、引き続き取り組んでいく予定です。



05 経済学部 経済学科
 経済学部OB・清家康仁氏による
 特殊講義を実施しました

11月1日、帝塚山大学経済学部の「生きた経済を学ぶ」講義の一環として、経済学部OB・清家康仁氏(岡三証券株式会社勤務)をお招きし、特殊講義「企業人から学ぶ地域経済の現状」を実施しました。清家氏が勤めておられる岡三証券株式会社は、三重を創業とする岡三証券グループの中核会社で、全国各地に支店・営業所を構えておられます。清家氏からは、証券会社での勤務の様子や株式市場・債券市場を取り巻く環境を中心に話をいただくとともに、学生時代にやっておいた方がよいことや就職活動での経験、取得しておくべき資格などもご教示いただきました。学生たちにとっては、証券会社で販売する金融商品の特色や各証券会社の特色などは高度な内容でありましたが、先輩のお話を熱心に聞き入っていました。



正月元日から二日にかけての夜見る夢を「初夢」といい、その夢で一年の運勢を占う風があり、縁起のよい初夢を見るための作法として、宝船の絵を枕の下に入れて寝ることが流行り、江戸時代には「お宝、お宝」と叫びながら、宝船の絵を売って歩くのが、元日の一つの景物であった。この宝船は、寛永年間の書物の中に、「舟をえがきてしきねまめ打節分の夜也」とあり、江戸時代には年越たる節分は豆打ちとともに悪霊払いの一法としておこなわれていた。

民俗 よもやま噺し

初夢

宝船の絵は社寺からも授けられたが、はじめ稲の穂や米俵を載せた図柄であったが、しだいに賑やかになつて七福神だの、宝珠や鶴亀など目出度なくめの物が満載された図になった。また帆に「猿」という字の書いたのが多いが、猿というのは頭が獅子、鼻は象、目は犀、胴は熊、尾は牛、脚は虎に似て、毛は黒と白の斑と、すべての猛獣を綜合した動物で、夢を食うとか悪病を食う動物だと故事にいわれたところから、年頭にあたつての厄除けにこの字が用いられたのである。



資料紹介

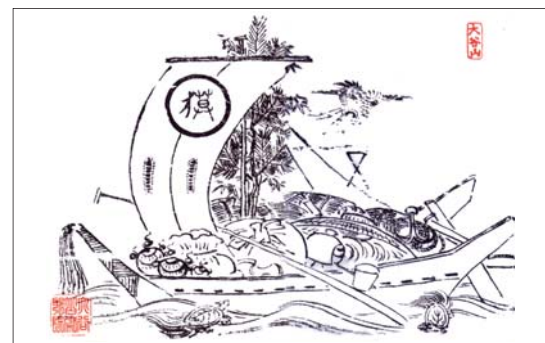
アイヌの人々の着物 (明治時代初期)

母から娘へ伝えられる伝統の技 アイヌ民族の衣服は、古くは獣皮や樹皮繊維で作られていましたが、本州から木綿や古着が入ってきたと、それを使った文様の切伏(アツプリケ)や刺繍を施すものになっていきました。アイヌの人々の衣服はその形に男女の区別がなく、同じ形をしています。しかし同じ形の衣服でも、文様が多く施されたものが男性の衣服、比較的少ないものが女性の衣服とされています。これらの文様には信仰と魔除けの意味が込められており、したがって外へ狩りに出かける男性の衣服に文様が多く施されました。今回紹介する資料は、襟、袖、背中、裾に文様の切伏と刺繍が施され

帝塚山大学大学院人文科学研究科 日本伝統文化専攻 博士後期課程3年 加藤 綾香

ている普段着です。文様の形には地方によって差があります。この資料は、下地の布に別の細い布を当てて切伏を作った上に、アイヌ語で「アイウシ文」と呼ばれる括弧文をした刺繍(目)が施されています。この「アイウシ文」は祭具などにもよく刻まれ、アイヌの道具や衣服によく見られる文様です。こういった切伏や刺繍の方法、針の刺し方は、母から娘へと代々受け継がれていくことも大切な伝統の技のひとつでした。

帝塚山学園評議員(元・帝塚山大学学長) 国立歴史民俗博物館名誉教授・文学博士 岩井 宏實



吉祥宝船 伽耶院(兵庫県三木市)

本学教員の執筆図書の紹介

Introducing Teacher Research Books

TEZUKAYAMA books

稲熊 隆博 (現代生活学部 教授) 監修

おいしい健康法 野菜氷レシピ 成美堂出版 ¥1,155



岡本 光弘 (元現代生活学部 教授)

管理栄養士のための 栄養生化学実験 ハンドブック 帝塚山大学出版会 ¥1,575



清水 昭博 (人文学部 准教授)

古代朝鮮の造瓦と仏教 帝塚山大学出版会 ¥2,520



稲熊 隆博 (現代生活学部 教授) 分担執筆

食品素材のナノ加工を支える技術 シーエムシー出版 ¥59,850



川口 洋 (経営学部 教授) 分担執筆

人文地理学事典 丸善出版 ¥21,000



谷 美奈 (心理福祉学部 准教授) 分担執筆

思考し表現する学生を育てる ライティング指導のヒント ミネルヴァ書房 ¥2,940



緒方 房子 (全学教育開発センター 教授) 分担執筆

新時代アメリカ社会を知るための60章 明石書店 ¥2,100



美 聖淑 (経営学部 准教授)

実践から学ぶ 女将のおもてなし経営 中央経済社 ¥2,730



森 郁夫(故人) (元帝塚山大学客員教授)

柱 法政大学出版局 ¥2,940



(著者名50音順)

CAMPUS REPORT

2013 July-December



11 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 フィールドワークを通じて学際的視野を広げる

本研究科を特色付ける科目に「日本伝統文化特論」「奈良学特論」があります。学際的視野を広げるためと、奈良に所在する有形・無形の文化財を「教材」として実践的研究法を身につけるため、各分野の専任教員が分担して講義やフィールドワークを行っています。写真：「奈良学特論」授業 「鞍馬寺・貴船神社見学」



12 法政策研究科 世界経済法制専攻 法政策研究科で研究報告会が開催される

10月30日(水)に、2013年度第2回院生による研究報告会が開催されました。法政策研究科の博士後期課程の留学生、范滄云(ハン セイウン)さんは「台湾における国際商事仲裁をめぐる国際私法上の諸問題」をテーマに、徐艶紅(ジョ エンコウ)さんは「労働関係における絶対的強行法規の日中比較」をテーマに研究報告をしました。また、博士前期課程の留学生の薛明明(セツ メイメイ)さんは現在、「自炊代行行為の間接侵害の成立可否について」というテーマで研究を進めています。



13 経済学研究科 経済学専攻 大学院生による研究成果発表会を開催しました

経済学研究科では、9月下旬から10月下旬にかけて、大学院生による修士論文と特定課題研究の中間発表会を開催しました。10月30日の発表会では、石澤木三教授から論文指導を受けている李哲さんが「固定為替相場と中国経済」というテーマで、人民元レートやインフレ率の推移、WTO加入後の貿易収支の推移等のデータやグラフを駆使して、管理為替導入後の中国経済の不安定要因をさまざまな角度から解説しました。当日は審査員の先生だけでなく大学院生も集まり、活発な質疑応答があるなど白熱した発表会となりました。とくに副査の中嶋航一教授からは、データの精度を高めるためにも、中立的な立場にある機関から出された石油や石炭等の貿易データにも注目する必要があるとの意見が出されました。発表後、李哲さんは、主査や副査の先生からいただいたコメントをもとに論文を修正し、期限内に論文を提出したいと語りました。

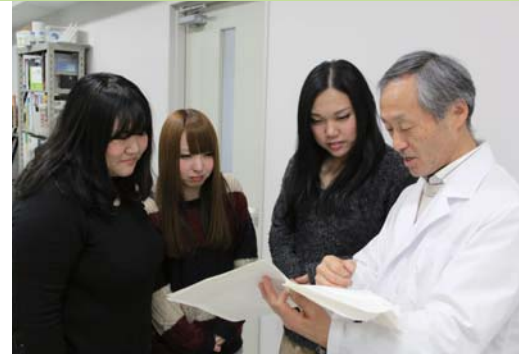


14 心理科学研究科 心理科学専攻 大学院心理科学研究科院生・修士生ら学会で注目の発表!

日本応用心理学会は9月に日体大で、第80回記念大会が盛大に開催されました。14名の多くの院生・研究生が指導教授らとのポスター発表、また、ワークショップも2件の参加があり盛りだくさんの大会でした。また、日本心理学会も、9月に北海道医療大学が開催校で第77回大会が開催され、水野、奥村教授による3件の発表、院生は1名、わが国で最も歴史のある学会で成果を問いました。さらに、11月には、沖縄国際大学において日本社会心理学会第54回大会があり、3名の院生がポスター発表を行い、多くの他大学の先生や院生と有益な議論を行い、谷口准教授も口頭発表とワークショップの企画と司会を行いました。同月、和歌山大学において関西心理学会第125回大会が開催され、7名の院生が口頭発表、水野教授も単独の発表を行いました。心理科学研究科は、心理学専修と臨床心理学専修に大きく分かれ、また各専修内にもさまざまな研究分野がありますが、所属する大学院生や教員は日ごろから研究分野の垣根を越えて交流を行っています。学会発表もその成果があらわれたもので発表を通じて社会に貢献、ますますの活躍が期待されます。



山本研究室



山本先生のご専門と研究のいきさつについて教えてください。

私の専門は神経科学 (Neuroscience) です。世間では俗にいう脳科学です。脳科学の名称は正式には神経科学と呼ばれています。なぜ心理学に神経科学か？それは心理学の研究対象である「心」は神経がふるさと、つまり脳神経系と考えられているからです。最近の心理学は世界的には自然科学分野に位置づけられています。世界の科学者に最も講読され、権威のある NATURE という科学雑誌には心理学のカテゴリーが堂々と設けられています。私もこのスタンスに立って心理学研究を進めています。私が大学院生であった1970年代後半は生体微量分子の測定法がまだ未熟でした。にもかかわらず、頑張って1兆分の1グラム程度しか存在しないアドレナリンやノルアドレナリンという生体物質を定量できる技術を身に付けていきました。しかし当時の研究目的は心臓機能への負担を知る指標として使っていました。ところが研究を進めるうちにこれらの生体物質が脳にも存在し、ヒトの精神機能の基盤になっているという事を知りました。心臓より脳の方が面白いと直観で思いました。以来、自分の情熱はますます脳の研究に傾いていきました。



山本先生にとって、その専門分野の魅力は何でしょう。

実験系領域の魅力は「発見」です。発見した瞬間は、今、世の中の誰も知らない事実を自分が知っているという優越感です。そして教科書や論文に載っていることが正しくないということを知る瞬間です。そして生き物の仕組みの真実を知った時、自分や人類の特徴を理解でき、自然の摂理を師として学び取る喜びです。ですから学生や院生達には講義、特論、演習を通じてこの魅力を伝えようと努力しています。もうひとつは、あやふやな理解や説明をするのではなく、キーワードをしっかりと覚えて明快で統合力のある考え方ができるような教授を心がけています。典型的な例として、私の研究分野は生命とは何か？人間とは何か？と聞かれた時、明快な事実は20種類のアミノ酸を持ち、私たちの遺伝子暗号

はアデニン、チミン、グアニン、シトシンの4種類しかないという命あるものの特徴に基づいて伝える事です。心や精神作用はこのような限られた物質を背景として成り立っているのが人間を含めた生き物なのです。

今後の研究の方向性や抱負について教えてください。

研究は心を生み出す神経回路の解明です。脳は神経細胞のみで構成されていると考えがちですが、実はその10倍ものグリア細胞 (非神経性細胞) がその周りを取り囲んでいます。以前は単に神経細胞を支持して

研究は世界を視野に

心理学部 / 心理科学研究科 神経生理学研究室

山本 隆宣 教授 TAKANOBU YAMAMOTO

1986年 大阪大学大学院 医学研究科 生理系薬理学専攻修了、医学博士 (大阪大学医学部)
1992年~1993年 英国オックスフォード大学 生化学部 (Dr.E.A.Newshome) Visiting Scientist
2005年~2006年 英国オックスフォード大学 (麻酔科およびグリーンカレッジ) Academic Visitor
2006年 デンマーク国立オーフス大学 精神医学研究所 (Dr. Raben Rosenberg) Visiting Scientist
現在 帝塚山大学 神経生理学研究室 教授

いる細胞と考えられていました。最近では神経細胞に似た機能 (精神的活動にも参加している) である事実がわかってきました。しかし細胞生物学的にグリア細胞機能研究が進んでいるものの、心や精神機能との研究はほとんどされていません。特に実験心理学の分野では皆無です。山本研究室ではすでにグリア細胞の抽出に成功し、「グリア細胞-神経細胞」間の神経回

路が「認知」や「精神疲労」にどうかかわっているかの未開の分野に挑戦し、解析を進めています。その競合相手は常に世界を意識して進めています。

い指導をしてもらっています。おかげで円滑で活気のある研究活動がなされています。その成果は社会にも発信し、外からの評価を受けたり、社会への貢献を目指すよう積極的に学術集会等での発表を推進しています。発表は自らの到達点を認識できるようにになります。

最後に学生へのメッセージをお願いします。

「好きこそものの上手なれ」は私

の経験からそう言えます。なぜなら、私は高校生の時、才能は勉強よりスポーツで開花しました。ところが今は、学問の世界に入って人並みにやっています。そのときどきの好きな事を見つけて夢中になり、集中してやってきました。研究方向も自分のやりやすい方向に仕向けていきました。ですから勉強ができる人が研究するのではなく、そのテーマについて研究する事が好きな人が研究する事です。



TOPICS 日本学術振興会の平成26年度特別研究員に採用内定!

生物学的な研究手法で精神疾患の診断や治療を研究する国際会議、The 11th World Congress of Biological Psychiatryが6月に京都国際会館で開催され、山下雅俊さんが山本先生と堂々の発表 (テーマ: 神経膠細胞内トリプトファンの中枢性 / 精神性疲労の誘発機構に関する実験心理学的解明)。その成果もあって次年度から日本学術振興会の特別研究員に採用内定しました。国の若手研究者を育てる超難関の特別研究員に本学として初めて内定を受けたことは、特筆に値する快挙と言えます。

また、同研究室の袴田康佑さんは、第18回認知神経科学学会学術集会若手奨励賞 (優秀ポスター賞、テーマ: 無アルブミンラットを用いたAD/HDモデル動物の可能性の検討の研究) で5位入賞に輝きました。

The Voice of Seminar Students ゼミ生の声



山下 雅俊 さん (大学院心理科学研究科)

採用内定おめでとうございます。今後の研究の展望について教えてください。

この度、平成26年度日本学術振興会特別研究員-DC1の採用内定をいただきました。これに至り、帝塚山学園をはじめ、心理学部先生方の情熱あるご指導、ならびに大学職員の皆様の御支援に、心よりお礼申し上げます。DC1採用内定に際し、今後、グリア細胞-神経細胞間相互機構における具体的な中枢性疲労の誘発機構を明らかにするべく、研究を進展させていきます。これにより、中枢性疲労の病理的危険性に対処し、社会に潜む心の問題の科学的解明に貢献できるよう、私は実験心理学を通して、インテンスに物を見、インテンスに物を考え、社会貢献を為す研究を生涯にかけて行いたいと考えます。

山本研究室はどんな雰囲気ですか? 山本先生ってどんな方ですか?

世界の疲労研究の第一人者である山本先生は、高校時代、器械体操選手として活躍されていました。先生は体育会系のように、情熱家です。私自身も、中学、高校時代はテニスばかりに明け暮れていました。先生と私は、スポーツの種類は違いますが、青春時代をスポーツに捧げてきた情熱と根性が似ており、疲労を解明したいという情熱もまた一致しています。2020年、オリンピック・パラリンピックは東京で開催されることになりました。また、先生と私は、スポーツをすることが趣味でもあります。そこで、研究室では、「運動と認知の関係性に関する研究」を行います。人を対象とした研究を行います、マラソンをしてもらいます、テニスもしてもらいます。学部学生の皆さん、この研究に携わりたくないですか? 面白そうと感じませんか? 少しでもそう思ったのなら、ぜひ入室して下さい!

現在、研究室には私以外に、M1の袴田君、学部学生3名が所属しています。袴田君は優秀な院生であり、認知神経科学会ポスター賞の功績に加え、彼が持つ学識には驚かされる毎日で、同時に助けられています。また、学部学生の彼女たちは、個々に素晴らしい研究テーマと学識、情熱を持ち、夢があります。学部学生の皆さん、山本研究室に興味はありませんか? そして、私たちと一緒に、運動と認知の関係性を明らかにし、研究室メンバーで学会発表に行きましょう!



写真
サークル

活動の幅を広げています！

設立2年目で、ほぼみんなが写真について初心者というサークルということもあり、部員それぞれが思い思いの写真を楽しく撮っています。今年の虹色祭では、アンケートの統計を元に写真の種類や展示の仕方を工夫した発表を行い、多くの来場者が足を止めて作品に目を向けておられました。

「今後も学内イベントを中心に、一般のコンテストやサークル内での撮影会、写真研究なども行っていき、単に個人で撮って終わり、では勿体ないような写真を披露する良い場所になれば」と、部長の關紋花さん（人文学部日本文化学科3年）もサークル活動に意欲を燃やしており、これからのクラブ昇格を目指した展開にも注目です！



弓道部

先輩・後輩が一つになった新チーム！

昨年度のリーグ戦において人数不足で女子は参加できず、男子は参加できたものの人数差を埋められず降格してしまった弓道部。その雪辱を晴らすべく今年は16名もの新入部員を迎え、上回生と共に練習を重ねてきた結果、1年生がメンバーの半分以上を占めるチームでありながらも女子は堂々の3部リーグ残留、男子も5部リーグで全勝を果たしました。

帝塚山の弓道部は、個々の力だけではなく、チーム丸となって勝つという意識を共有していることが強みであり、これからも先輩、後輩、同期関係なく、仲間で支えあい勝利に繋げられるよう頑張っています！



奈良・東生駒 CAMPUS

ラグビー部 スタートダッシュが止まらない！

今季より関西大学リーグ（Cリーグ）に復帰したラグビー部の攻勢が止まりません！初戦・第2戦を快勝し、幸先の良いスタートを切ったチームは更に攻撃力を増し、第3戦以降の3試合は圧倒的な強さで1点も相手に奪わせない猛攻を続けました。（対桃山学院大学：59-0、対和歌山大学：97-0、対大阪府立大学：51-0）残念ながら最終戦で大阪工業大学に敗れたものの、7勝1敗でリーグ第2位という好成績を残し、12月15日に行われるBリーグとの入替戦（対大阪学院大学）へ駒を進めることとなりました。破竹の勢いで上位リーグへの昇進を目指すラグビー部の挑戦はまだ続きます。これからも皆様のご声援をよろしくお願いいたします！



バドミントン部

これからも続く快進撃に注目です！

6月に行われた関西学生バドミントン選手権大会個人戦ダブルスBクラスの部において、キャプテンの田岡賢弥さん（経済学部経済学科3年）と次期エースの徳永真道さん（現代生活学部食物栄養学科2年）によるペアが勝ち進み、見事優勝を果たしました。また、関西学生バドミントン連盟による団体戦では、6部ではほぼ負け無しであるものの5部との入替戦であと一歩及ばず敗れてしまう、という状態が長らく続いていましたが、9月に行われた秋季リーグ戦大会で、遂に入替戦で勝利し念願の5部昇格を決めました。帝塚山の名を轟かせる存在になるべく、これからもこの調子で快進撃を繰り返していくため日々練習に励む、バドミントン部の更なる活躍にご期待ください！



大学祭
実行委員会

「虹色祭」ご来場ありがとうございました！

10月13日・14日の2日間、秋の大イベント「第49回虹色祭」を晴天にも恵まれ無事に開催することができました。恒例のステージ企画をはじめ、よしもと芸人（笑い飯・ギャロップ・クロスバー直撃）によるお笑いライブや、MEGARYU・TSUYOSHIによるスペシャルライブ、クラブ・サークル主催のダンスステージやファッションショーなどの多彩な催しで、内外から多くの来場者を集めました。実行委員にとっても開催までの全ての準備・運営を自分たちで行ったので、最後を飾る花火を打ち上げ、全てのスケジュールを終了した時の達成感や喜びは、ほかでは味わうことができない自信と経験となったはず。

来年度（2014年11月23日・24日開催予定）は、記念すべき50回目の大学祭となります。これまでにない素晴らしいイベントの数々を構想していますので、皆さんぜひ来年の秋にも「虹色祭」へ足をお運び下さい！



ヘルス
チーム
菜良

鍋フェスタで“親子鍋”が大好評！

11月23日に奈良県中央卸売市場で行われた「冬の市場まつり」。その中の“鍋フェスタ”に、ヘルsteam菜良のメンバーと食物栄養学科有志、総勢21名が参加しました。奈良の特産物を使用したオリジナル鍋を考えて、実際に調理したものを参加者にふるまうというイベントです。

作ったのは、“おやこ鍋 TEZUKAガール おもてなし”。大和肉鶏を使った、親子丼ならぬ親子鍋です。豆乳味噌味の濃厚で素材の良さを引き出した鍋は好評で、審査員は全員完食。「大和郡山市長賞」をいただくことができました。参加者のために準備した200食も完売し、大盛況でした。

中心メンバーとして参加した井尻圭名子（食物栄養学科3年）さんの感想です。「人数が多く、意見をあわせるのは大変でした。途中不安もありましたが、満足できる鍋ができて本当に良かったです」。新たな鍋を考えて、来年も参加する予定です☆



奈良・学園前 CAMPUS

TAGG HANARARTに参加しました

TAGG（建築研究サークル）が、10月12日～14日にHANARARTに参加しました。HANARART（はならあと）とは、奈良県のさまざまな地域で行われる「奈良・町家の芸術祭」です。

大和郡山市にあるレストラン『ST.Poopee』の一角をお借りして、キャンドル製作のワークショップを行いました。老若男女問わず50名以上の方が参加いただき、カラフルでオリジナルあふれる作品を、それぞれ作っていただきました。参加者みんな大喜び。どのキャンドルもステキな火が灯ることでしょう。



学園会

募金活動しました～赤い羽根の共同募金～

学園会が11月18日から11月22日の期間に、近鉄学園前駅の駅前で募金活動を行いました。朝の通勤時間と昼休みの時間に、大きな声で募金を呼びかけました。

朝の急いでいる足を止めて、募金してくださる会社員。小さい手で小銭を握りしめやってきてくれる幼稚園児。大勢の方々にご協力いただきました。集まったお金は、総額5,275円。奈良県共同募金会奈良市支会に全額寄付しました。たくさんの善意に、心がとっても温まりました。



どれみり
Switch

帝塚山小学校・帝塚山幼稚園との交流☆

児童福祉ボランティア「どれみり」とダンスサークル「Switch」が、帝塚山小学校・帝塚山幼稚園が合同で行ったファミリーカーニバルに参加しました。

「どれみり」は、ペットボトルボーリング等のブースをしたり、舞台の上で劇を披露しました。Switchは迫力あふれるダンスを熱演。激しく息のあったダンスに子どもたちの目は釘付け。子どもたちは皆、大喜びでした。

幼稚園、小学校との交流は毎年の恒例行事となっています。年齢を越えた絆が毎年新たに生まれています。



Close-up NEWS

卒業生紹介

Introduce graduate

お仕事について教えてください。

あべのハルカス近鉄本店に勤務し、婦人服部門のプロアをマネジメントする立場で、主に商品や人員、数値管理や販売計画なども企画、立案し実施しています。6月にあべのハルカス一部先行オープンして以来、新しいお客さまがたくさん来店していただいています。2回目、3回目も足を運んでいただけるよう丁寧な接客、サービスの徹底にも取り組んでいます。

入社を決意した理由は？

学生時代に接客業のアルバイトを

しており、社会人になっても直接人と接する業種で働きたいと思いましたが、百貨店については、小売業の中でも歴史や格式、信用といった重みがあり、また小さいころのパートでの思い出（屋上の遊園地、大食堂、おもちや売場など）が強く残っており、そういった環境の中で働きたいという思いがありました。

案する時代に入ってきました。日常の通勤スタイルや、旅行、帰省、入学、卒業などさまざまなシーンを想定し、お客さまの行動をイメージしたスタイリングを提案します。また、「ファッションコンシエルジュ」という企画を立ち上げ、お客さまにブランドの垣根を越えて、さまざまな商品を選んでいただくために社員が専属にアテンドして、友達感覚で一緒にお買い物のお手伝いをするというも行っています。

印象に残る出来事はありますか？

失敗とまではいかないのですが、新入社員時代に婦人肌着の売場を担当することに、さすがに最初ははさかしく大きな肌着の催事のときには下を向いたままカウンター業務



田村 智明さん

経済学部経済学科1992年3月卒業
株式会社近鉄百貨店勤務



今後の目標を教えてください。

家庭と仕事のバランスをうまくとり、日々の生活においては、小さな楽しみを見つけたら快感をする。その積み重ねが大切だと思います。あとは、ありきたりですが海外、国内問わず旅行を楽しみたいです。非現実

最後に後輩たちへメッセージを。

就職氷河期という時代が続いており大変ご苦労されていると思います。私も会社で新卒採用の面接官を経験したことがあるのですが、ひとつアドバイスをするのであれば希望される会社に入社して5、10年後にその会社で何をしたいのか（できるだけ具体的に）を念頭におき面接に臨んでみてはと思います。内定を取る、入社するということがよりも、入社して何をやるかがポイントだと思います。強い思いを持ってばきつと相手に伝わるはずですよ。悔いのないよう頑張ってください。



1 帝塚山大学歴史館 2 学生制作の東生駒キャンパスジオラマ 3 歴史館記帳メッセージ 4 設置申請にかかる校舎平面図(昭和38年) 5 展示を見学する来場者

Data 帝塚山大学歴史館
場所 奈良・東生駒キャンパス 3号館1階
帝塚山大学バス停すぐ
開館 平日 9:00-17:00 土曜日 9:00-13:00
※大学休校時は閉館

第49回虹色祭(大学祭)の期間中の10月13日(日)、14日(月・祝)、大学創立50周年に先駆けて、特別展示『図書館所蔵資料から振り返る帝塚山大学50年史』を帝塚山大学歴史館において開催しました。本展示は、大学附属図書館が主催で、図書館の所蔵資料とパネルで帝塚山大学の50年の歴史を紹介したものです。

「これからの50年に向けて」と、本学のターニングポイントとなる年度を定義し、それぞれの時代を象徴するテーマを設けました。



アカデミックガウン 胸には歴代の卒業生の名前のぬいとりがある。

また、フロア中央には現代生活学部居住空間デザイン学科の学生が制作した東生駒キャンパスのジオラマを設置。キャンパスの全容を細部まで立体的に確認することができ、さらに、入口正面に配置されたデジタルサイネージからは、卒業生がナレーションを務める広報用DVDをエンドレスで流し、音声でも本学への理解を深められるように配慮しました。

同展示には、虹色祭に訪れた一般の方々のみならず、14日にまほろほーるで行われた『第二回ホームカミングパーティー』の参加者も多く来場しました。数々の展示品やパネルを前にした来場者からは、「あの写真の真ん中にいるのは私！」「そういうえば、昔の家庭はこうだった」との声が聞かれ、至るところで思い出話に花が咲いています。

当初、同展示は虹色祭期間中の2日間のみの限定公開とする予定でしたが、各所からの要望を受け、大学歴史館の常設展示とすることが決定しました。同館は、本学の50年の歩みや地域とのかわりへの知識を深める施設として、広く一般の方々にもご利用いただくことを目指しています。また、50周年を迎える翌年には、さらに内容の充実を図り、パワーアップした展示を公開する予定です。今後は、学生、教職員の帰属意識の向上を目標とした、自校教育の場として活用することも視野に入れています。

パネルは、大学創設から未来への展望を網羅した4部構成。開学した1964年を「日本の女子大教養学部はじまる」、男女共学化した1987年を「経済学部発足。念願の男女共学化へ」、学園前キャンパス

の学部が短期大学から移行した2004年を「6学部9学科を擁する文系総合大学へ」、そして50周年を迎える2014年を

この歴史館が、在校生、卒業生、そしてあらゆる関係者の方々に向け、過去の先輩が積み上げてきた伝統と歴史を正確に伝えるとともに、本学の未来へのビジョンを発信する拠点となることを心から期待しています。



帝塚山大学歴史館オープン！

よみがえる50年の歴史



5



特別展示告知用ポスター

8月 August

▼25日
第6回心理学検定106名が受験！
本年度より、日本心理学諸学会連合認定の「心理学検定試験」が本学でも受験可能となり、3領域に57名、6領域に39名、8領域に10名が挑戦しました。



9月 September

▼14日
本学学生が「飛鳥光の回廊」にスタッフとして参加
公益財団法人古都飛鳥保存財団との連携協定の一環として、奈良県高市郡明日香村で開催された「飛鳥光の回廊」に人文学部日本文化学科、現代生活学部居住空間デザイン学科の学生・教職員が参加しました。



▼20日
経済学部・山本綾香さんが国際ソロプチミスト奈良クラブ賞を受賞
奈良ホテルで開催された授与式では、英語をはじめ、フランス語やイ

▼17日
帝塚山大学・古都飛鳥保存財団連携イベント公開講座&ウォーク「飛鳥の聖なるラインを考える」を開催
奈良・東生駒キャンパスにおいて、プレゼンテーションの実施および指導における世界的な第一人者であるガー・レイノルズさんをお招きして、経営学部および経済学部による合同講演会を開催いたしました。



▼18日
ガー・レイノルズさんによる講演会を開催
奈良・東生駒キャンパスにおいて、プレゼンテーションの実施および指導における世界的な第一人者であるガー・レイノルズさんをお招きして、経営学部および経済学部による合同講演会を開催いたしました。



▼21日
五條市と包括的連携協定を締結
帝塚山大学と奈良県五條市は、協同のパートナーシップのもと、まちづくり、教育・文化・福祉、産業の振興など多様な分野で包括的



タリ語など語学習得への真摯な取り組みや将来に対する明確な目標、夢、希望をもつ山本さんが紹介された後、国際ソロプチミスト奈良・前川会長より、賞が授与されました。



▼23日
ミス帝塚山の河野まどかさんが一日警察署長に
秋の全国交通安全運動のPRとして、ミス帝塚山の河野まどかさん（現代生活学部食物栄養学科2年）が奈良警察署の一日警察署長を務めました。



▼30日
9月卒業式を挙げる
奈良・東生駒キャンパスにおいて、平成25年度9月卒業式を挙行しました。



10月 October

▼1日
3年生一斉初回面談開始
キャリアセンターにて全学部3年生を対象に、進路・就職相談を目的とした一斉初回面談が行われました。就職活動準備のアドバイスを行い、これから共に活動していく旨を学生の皆様に話しています。



▼29日
寺島実郎特別客員教授による特別公開講座を開催
寺島実郎特別客員教授（一般財団法人日本総合研究所理事長、多摩大学学長、三井物産戦略研究所会長）の特別公開講座「世界の中心の日本―我々はどこへ進むべきか」を大阪商工会議所国際ホールで開催しました。今年2回目となった今回の特別公開講座には一般市民と本学教職員、学生ら約400名が参加。豊富なデータを駆使した分析に基づく講演に参加者は熱心に耳を傾けていました。

▼7日
保護者就職説明会の開催
3年生の保護者を対象とした、就職説明会。4年生をバネリストとして招き、就職活動体験の報告を行いました。また同時にキャリアセンターから、現在の就職状況をご説明させていただきました。



▼7日
保護者就職説明会の開催
3年生の保護者を対象とした、就職説明会。4年生をバネリストとして招き、就職活動体験の報告を行いました。また同時にキャリアセンターから、現在の就職状況をご説明させていただきました。



▼24日
奈良県中小企業家同友会と学生による報告会
今回のテーマは「若い発想が未来を築く」。本学からは2名の学生が報告を行いました。参加した経営者、教員、学生はグループごとに分かれ、討論を行いました。



▼29日、30日、31日 奈良・東生駒キャンパス
11月4日、5日、6日（奈良学園前キャンパス）
先輩体験報告会を実施
内定を獲得した現4年生に、就職活動体験を3年生の質問を交えつつ話していただきました。さまざまな業種の4年生が体験談を報告し、大盛況のうちに終了しました。



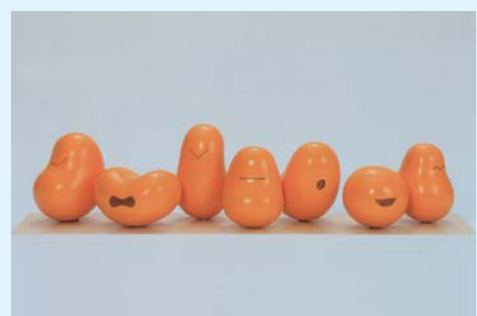
11月 November

▼10日
文学部文化創造学科開設記念特別講演会を開催
「文学部文化創造学科開設記念特別講演会」奈良まるごとキャンパス「奈良を歩く・見る・知る・そして日本を考える。世界に発信する。」を奈良・学園前キャンパスにて開催しました。



表紙の人 「第2回あさごアートコンペティション2013」で大賞受賞

現代生活学部 居住空間デザイン学科 安井 健二ゼミのみなさん
前列左から 年岡 昂輝 (4年) 安井 健二 講師 高橋 彩音 (4年)
後列左から 藤本 翔平 (4年) 櫻谷 拓哉 (4年) 山口 明子 (4年)
現代生活学部居住空間デザイン学科安井健二ゼミは、「第2回あさごアートコンペティション2013」(主催:朝来市・あさご芸術の森美術館)に「Seven Friends」を出品し、応募数52作品の中から見事大賞に選ばれました。「Seven」には七福神やラッキーセブなど「縁起のよい意味」が込められ、本体色の黄色は見る人に温かい印象を与える本作品。受賞を受け、安井先生は「ゼミで公募への参加を決め、メンバー全員の粘土の試作からアイデアを詰め、夏休みを利用して製作しました。この受賞が大学4年間の集大成となりました」とその喜びをコメント。また、同学科加藤孝志ゼミの作品「軌動線上の岩石」もスポンサー賞(地域特産賞)に選ばれ、本学の教育取組の成果に大きな注目が集まっています。



大賞に選ばれた作品「Seven Friends」

職員紹介

南野 貴久
学生支援センター学生生活課 (奈良・東生駒キャンパス)
学生生活課は、学費や奨学金の取扱い、クラブ・サークル等の課外活動支援、保健室や学生相談室の運営、果てには落とし物の保管・返却に至るまで、名前の通り学生生活に関するあらゆることをサポートする部署です。
私は帝塚山学園に入職以来12年間ずっと法人部門に居たため、本年6月に人事異動で大学へ赴任して来た時には戸惑いもありましたが、最近「窓口で聞くことのできる学生の生の声」が仕事に繋がる楽しさを感じつつあります。
大学は学生が主役の場所です。是非ふと何か思いついたとき、私に「生の声」をお聞かせ下さい。



青山 裕里
学生支援センター教学支援課 (心理・心理福祉学部)
教学支援課は、カリキュラム編成や学籍管理、履修指導など、さまざまな教務関連の業務を通して学生の皆さんが充実した大学生活を送ることができるようサポートしている、学生にとって最も距離の近い部署のひとつです。
私は今年の6月に教学支援課へ異動してきました。日々業務に取り組む中で、心理・心理福祉学部の教職員はさまざまな場面において学生がそれぞれに抱えている事情や心情を出来る限り汲み取りながら対応しようとしている、そんな印象を受けました。私も、大学としてのルールや公平性を心がけつつ、そのように一人ひとりの学生に対して丁寧に、適切な対応ができるよう努めたいと思います。そして学生の皆さんには、大学で過ごす長いようであっという間の4年間で有意義なものにできるように、一日一日をしっかりと過ごしてほしいと思います。



虹色祭(大学祭)・ホームカミングパーティ開催



10/13(日)・10/14(月・祝)、奈良・東生駒キャンパスにおいて、「虹色祭」(大学祭)およびホームカミングパーティを開催しました。今年の虹色祭のテーマは「一祭合彩-make your smile!」。世界で一つだけのお祭りとして一人ひとりにひとつずつ自分の色がある、というメッセージが込められています。
MEGARYUのスペシャルライブをはじめ、TSUYOSHIさんのOpening Act、よしもとお笑いLIVEには多数の観客が集まりました。また、お馴染みの模擬店やクラブ・サークルによる展示・発表、100円フェスタのほか、ダンスステージ、ライブ演奏、早食いグランプリ、ミスコンテスト、チャリティーカットなど、イベントも盛りだくさんでした。毎年好評のフィナーレを飾る打ち上げ花火も来場者の注目を大きく集めていました。
当日は本学卒業生を招いたホームカミングパーティもあわせて開催し、参加いただいた多くの卒業生の皆様は恩師や友人との久しぶりの再会に旧交を温めていました。



市民大学講座
帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催

第318回 1月11日(土)
「地宝のひびき in 和歌山 -製塩土器を含めた和歌山の魅力文化財-」
 村田 弘 氏 (和歌山県文化財センター)

第319回 1月25日(土)
「樹木に見る、生き抜く戦略」
 松谷 茂 氏 (京都府立大学客員教授・京都府立植物園名誉園長)

第320回 2月8日(土)
「古墳出現前後の煙突 -いわゆる山陰型甕形土器の系譜と展開-」
 西垣 遼 氏 (帝塚山大学大学院博士前期課程)

第321回 2月22日(土)
「ここまで分かった古代ガラス -考古学と分析化学の共同研究の現場から-」
 四角 隆二 氏 (岡山市立オリエント美術館)

第322回 3月8日(土)
「インド哲学と食 -浄不浄の概念と食文化-」
 小磯 千尋 氏 (大阪大学)

第323回 3月22日(土)
「称徳天皇の悲願 -西大寺成って1250年-」
 甲斐 弓子 氏 (帝塚山大学考古学研究所特別研究員)

[時 間] 各回 14:00～15:30
 [会 場] 帝塚山大学東生駒キャンパス 5号館 5104教室

【お問合せ先】
帝塚山大学考古学研究所・附属博物館
 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-9700 **Fax** 0742-48-8783
 考古学研究所: <http://www.tezukayama-u.ac.jp/arch/>
 ✉ arch@tezukayama-u.ac.jp

訃報
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

松岡 博氏 (帝塚山大学名誉教授) が7月25日、逝去されました。(享年74歳)

青山 茂氏 (帝塚山大学短期大学部名誉教授) が11月6日、逝去されました。(享年89歳)

| キャリアセンター資格取得担当窓口春期資格講座募集中 | | | | |
|------------------------------------------------|--------|---------------|---------|-------|
| 講座名 | キャンパス | 受講料 (教材費込) | 検定料 | 在学生のみ |
| Microsoft Office Specialist 2010(Word) | 両キャンパス | ¥20,000 | ¥10,290 | ● |
| Microsoft Office Specialist 2010(Excel) | 両キャンパス | ¥20,000 | ¥10,290 | ● |
| Microsoft Office Specialist 2010(PowerPoint) | 両キャンパス | ¥18,500 | ¥10,290 | ● |
| TOEIC入門(Basic English for TOEIC)*1 | 両キャンパス | ¥9,500 | — | ● |
| TOEIC演習 | 両キャンパス | ¥22,000 | ¥4,040 | ● |
| Microsoft Office Specialist 2010 Expert(Word) | 奈良・東生駒 | ¥20,000 | ¥12,390 | ● |
| Microsoft Office Specialist 2010 Expert(Excel) | 奈良・東生駒 | ¥20,000 | ¥12,390 | ● |
| 日商簿記検定(3級)演習(2月試験)*2 | 奈良・東生駒 | ¥15,000 | ¥2,500 | ● |
| 日商簿記検定(3級)(6月試験) | 奈良・東生駒 | ¥24,000 | ¥2,500 | ● |
| 公務員講座(大阪府・大阪市職員採用試験対策) | 奈良・東生駒 | ¥20,000 | — | ● |
| Illustratorクリエイター | 奈良・学園前 | ¥26,500 | ¥5,500 | ● |
| Photoshopクリエイター | 奈良・学園前 | ¥26,500 | ¥5,500 | ● |
| 医療事務 | 奈良・学園前 | ¥85,000 | ¥6,500 | ● |

*1 パンフレットに記載されている「Basic English for TOEIC講座」から名称変更しています。
 *2 簿記3級の内容をひととおり学習された方を対象としています。

Information from Learning Support Office
学習支援室からのお知らせ

奈良・東生駒キャンパス図書館1階にある学習支援室では、就職指導の一環として、SPI(筆記試験)・公務員試験対策に注力しています。テキストや問題集のほか、学習支援室が独自に作成した問題プリント等を取り揃えており、学生の皆さんの自学自習を促進し、質問や相談に対しては随時対応しています。また、学内フォルダにも単元別のSPI問題プリントを収納しておりますので、是非ご利用ください。ほかには、授業期間外(春・夏期休暇期間)にSPI(筆記試験)・公務員試験対策講座などの各種講座を定期的に無料で実施しています。各学部事務室の掲示板やWebで案内していますので、必ず確認するようにしてください。今回の講座は以下の通りです。

[講座名] SPI対策集中講座
 [期 間] 3月26日(水)～3月28日(金)9:00～12:10
 [対 象] 全学部学生
 [申 込] 学習支援室にて受付

オープンキャンパス
 帝塚山大学をあなたの目と耳で体験できるオープンキャンパス。施設見学、体験授業、入試説明…。さまざまなイベントを用意してお待ちしています。友達や保護者の方も誘ってぜひ参加してください。
3月22日(土) 13:00～16:00 会場: 奈良・学園前キャンパス

Information from the Museum
博物館からのお知らせ

企画展示 帝塚山大学博物館実習生による
「写真で巡る大和・山城の社寺彫刻—永野 鹿嶋荘の写真作品から—」
 [期 間] 1月14日(火)～2月3日(月)
 [開館時間] 9:30～16:30
 [入 場 料] 無料
 [休 館 日] 日曜・祝日(1/17・18・29・30は休館)

【お問合せ先】
帝塚山大学附属博物館
 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-9700 **Fax** 0742-48-8783
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>

■ 申込み方法
 申し込みされる講座内容、および日程をご確認のうえ、以下の方法でお申し込みください。

① 資格コーナーにてお申し込み
 キャリアセンター資格コーナー窓口にて、「資格取得講座受講申込書」に必要事項を記入し、担当スタッフへ提出。開講が決定しましたら、手続きのご案内を、申込用紙にご記入いただいたメールアドレスへお送りします。

② Webサイトからお申し込み
 専用のWebサイトからのお申し込みも可能です。
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/career/extension/>
 トップページ→お申し込みフォーム
 必要事項を専用フォームにご入力ください。お申し込みいただいてから、資格コーナーより確認のご連絡がありますので、しばらくお待ちください。開講が決定しましたら、手続きのご案内を、ご入力いただいたメールアドレスへお送りします。
 ※12/29～1/8はキャリアセンターが閉室となり、資格コーナーでのお申し込みが出来かねますのでご注意ください。また、この期間は冬期休業期間となっております。ご連絡が遅れる場合がありますので、ご了承くださいませ。

■ 応募締め切り
 1/24(金) 17:00まで
 ※不明な点があれば、キャリアセンター資格コーナーにてお問い合わせください。

帝塚山大学 キャリアセンター資格取得担当窓口
 奈良・東生駒キャンパス 9号館2F
Tel 0742-48-9708 ✉ shikaku-h@jimu.tezukayama-u.ac.jp
 奈良・学園前キャンパス 16号館2F
Tel 0742-41-4751 ✉ shikaku-g@jimu.tezukayama-u.ac.jp

会場: 奈良・学園前キャンパス 5号館5101教室(織物実習室)
 受講資格: 3回とも出席できる方 申込締切: 2月13日(木) 必着
 ※抽選結果は、2月20日(木)を目処に郵送します。

【申込・お問合せ先】
 ハガキ・FAX・大学HPよりお申し込みください。
 ①講座名②郵便番号・住所③氏名(ふりがな)④電話番号・FAX番号⑤年齢・性別を明記の上、「帝塚山大学 総務課 公開講座係」までお申込下さい。
帝塚山大学 総務課 公開講座係
Tel 0742-41-4716 **Fax** 0742-41-4717
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>

帝塚山大学奈良学総合文化研究所
「名品・名作Ⅻ」 **申込不要** **聴講無料**

第1回 2月15日(土) 10:30～12:00
【演題】 芥川龍之介の野望—愉快な小説「羅生門」を読む—
 講師: 中谷 克己 (帝塚山大学人文学部教授)

第2回 2月22日(土) 10:30～12:00
【演題】 奈良時代の“ハコ”
 講師: 関根 俊一 (帝塚山大学人文学部教授)

第3回 3月1日(土) 10:30～12:00
【演題】 徳川綱吉と能
 講師: 恵阪 悟 (帝塚山大学人文学部講師)

第4回 3月8日(土) 10:30～12:00
【演題】 播磨国風土記とその周辺
 講師: 鷲森 浩幸 (帝塚山大学人文学部教授)

定員: 各回100名
 会場: 奈良・東生駒キャンパス 1号館1301教室

【お問合せ先】
帝塚山大学 奈良学総合文化研究所
 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel 0742-48-8842 (月・水・金 9時～17時)

Information from the Library
図書館からのお知らせ

「大学ランキング」(2014年版週刊朝日進学MOOK)には、図書館について(貸出冊数/学生)が掲載され、本学は5.5でした。この数値は、学生1人が1年間に約5.5冊を借り出したことを表しています。本学学生の通常借出手続きは1回あたり5冊2週間ですから、1年間にたった1回程度の利用しかなかった計算になります。本学図書館は約60万冊所蔵しているのですから積極的に利用しない手はありません。何を読めばよいのかわからないときは、図書館カウンター前に年に4回ほどテーマを選んで図書展示をしていますので、これをヒントに利用してはいかがでしょうか。読書をする時間がなければ自分でつくって、図書館を大いに活用ください。

Information from the Career Center
キャリアセンターからのお知らせ

「学内合同企業説明会」を開催

2015年3月卒業生(原則として現在3年生)を対象とした「学内合同企業説明会」を奈良・東生駒キャンパス内で、下記の日程で予定しています。10日間で、参加企業合計が180社～200社、参加学生が1日あたり最大200名、期間合計のべ2,000名の一大イベントです。参加される企業のほとんどが、「帝塚山の学生を積極的に採用したいという企業」です。この説明会がきっかけで、内定に至った学生も沢山います。ぜひ参加しよう。詳しくは帝塚山大学キャリアセンター(電話0742-48-9688)まで。

■ 第一期予定 3月11日(月)～15日(金) 午後
■ 第二期予定 4月7日(月)～11日(金) 午後
 ※第一期と第二期および各日程の参加企業は、すべて異なります。



2014 January-June
INFORMATION & EVENT NEWS **お知らせ・イベントニュース**

冬季一斉休業のお知らせ
 帝塚山大学は、12月28日(土)午後～1月7日(火)まで、冬季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問合せにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問合せに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Open lecture
公開講座

帝塚山大学・(公財)奈良市生涯学習財団
西部公民館共催公開講座 **要申込** **聴講無料**

「フル活 SNS!～知って得する SNS の使い方～」
 インターネットやSNSを安全・安心でスマートに活用するためにはどうすればいいのかわかるポイントと知って得する便利な使い方について学びます。
第1回 2月8日(土)10:00～12:00
第2回 2月22日(土)10:00～12:00
 定員: 各回50名 講師: 日置 慎治 (帝塚山大学経営学部教授)
 会場: 西部公民館 4階 会議室

【申込・お問合せ先】
 往復ハガキ(講座名・〒住所・電話番号・名前(ふりがな)・年齢を必ず記入)または、下記URLより「参加申込」フォームでお申し込みください。
西部公民館
 〒631-0034 奈良市学園南三丁目1番5号 西部会館内
Tel 0742-44-0101 **Fax** 0742-44-0103
<http://manabunara.jp/>

経営学部 シニア・カルチャー **要申込** **聴講無料**
「粉飾決算事件に学ぶ」
—ライブドア並びにオリンパス粉飾決算事件を中心として—
 粉飾決算の構図をわかりやすく解説するとともに、このような事件が起こった背景、予防できなかった原因等について一緒に考えてみたいと思います。
2月8日(土)13:00～14:30
 定員: 100名 講師: 佐藤 雄一 (帝塚山大学経営学部教授 公認会計士)
 会場: 奈良・学園前キャンパス 18号館3階18311大講義室

【申込・お問合せ先】
 ハガキ・FAX・大学HPよりお申し込みください。
 ①講座名②郵便番号・住所③氏名(ふりがな)④電話番号・FAX番号⑤年齢・性別を明記の上、「帝塚山大学 総務課 公開講座係」までお申込下さい。
帝塚山大学 総務課 公開講座係
Tel 0742-48-9192 **Fax** 0742-48-9135
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>

織物講座 ^{たかはた}**「高機と組紐」** **要申込**
 この講座では、織物や織機の歴史を学び、実際に機織りを体験します。奈良・学園前キャンパスにある織物実習室には、100を超えるさまざまな織物機具があり、充実した本学の織物教育を肌で感じる機会にもなります。
第1回 2月20日(木)10:00～12:00、13:00～14:30
【講義】 帝塚山大学の織物教育
【実演】 高機と組紐の仕組みについて
第2回 2月27日(木)10:00～12:00
第3回 3月6日(木)10:00～12:00
 ランチョンマット・ストラップ制作
 午後は織物実習室を開放・自由に制作(～17:00)
 講師: 植村 和代 (帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科教授) アシスタント: 帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科学生他
 費用: 3,000円(材料費) 定員: 16名(申込多数の場合は抽選)



国際交流

3週間留学してみませんか!

帝塚山大学では、夏休み期間中にアメリカ等、春休み期間中にはニュージーランドとスペインで短期語学研修を募集しています。全学部の学生（外国人留学生は除きます）が参加でき、参加学生には学部の規程により2〜4単位が認定されます。

今回はスペインでのプログラムについてご紹介いたします。今年、伊達政宗家臣支倉常長がメキシコ経由でスペインに向けて船出した年から400年。これを両国友好の証として、日本・スペイン共にさまざまな記念行事を行っています。

本学は、スペインのバリャドリッド大学 (Universidad de Valladolid) で、短期語学研修の協定を締結して毎年、研修の参加者を募集しています。スペイン語学習・文化体験・観光・ホームステイ生活を融合させたプログラムです。モデルニズム（ガウディを代表とするスペイン発の斬新な建築様式）で有名なガウディの作品群にあふれるバルセロナや世界遺産のセゴビアへの旅行、またワイン工場見学もあります。自分の目で歴史ある建築物を確かめ、ヨーロッパの雰囲気を感じてみませんか。研修前にはスペイン語日常会話や習慣等を予習します。参加した学生は、「自分の意思伝達は言葉だけでないことを強く体験」「日本の良さに目覚めた」「世界観が変わった」「人生の糧になった」、また「大学在学中に出来るだけ留学を体験してほしい」とも言います。みなさんも留学をぜひ身近に考え、グローバルな目を養ってください。



を体験してほ
しい」とも言
います。みな
さんも留学を
ぜひ身近に考
え、グローバル
な目を養っ
てください。

2014年度 学部入試日程一覧

| 入試区分 (種別) | 願書受付期間 | | | 試験実施 | 合格発表日 | |
|----------------------|--------------------|----------|----------|----------------------|----------------------|----------|
| | 開始 | 終了 | 持込 | | | |
| 一般入試 | A日程 前期 | 1月6日(月) | 1月23日(木) | 1月24日(金) | 1月29日(水) 1月30日(木) | 2月7日(金) |
| | A日程 後期 | | 2月5日(水) | 2月6日(木) ~2月8日(土) | 2月9日(日) | 2月14日(金) |
| | B日程 | 1月28日(火) | 2月20日(木) | 2月21日(金) 2月22日(土) | 2月25日(火) 2月26日(水) | 3月5日(水) |
| | C日程 | 2月17日(月) | 3月7日(金) | 3月8日(土) 3月10日(月) | 3月12日(水) | 3月16日(日) |
| 大学入試センター 試験利用入試 | 前期 前期(併設 高校) | 1月6日(月) | 2月5日(水) | - | - | 2月14日(金) |
| | 後期 | 2月17日(月) | 3月7日(金) | - | - | 3月16日(日) |
| 帰国生徒・ 外国人生徒 試験 | 後期 | 2月15日(土) | 2月20日(木) | - | 3月12日(水) | 3月16日(日) |
| 外国人留学生 試験 | 後期 指定校 | 1月22日(水) | 2月4日(火) | - | 2月25日(火) | 3月5日(水) |
| 入試区分 (種別) | 願書受付期間 | | | 試験実施 | 合格発表日 | |
| | 開始 | 終了 | 持込 | | | |
| AO入試 | 3月 | 2月28日(金) | 3月12日(水) | 3月13日(木) 3月14日(金) | 3月17日(月) | 3月18日(火) |

※詳細については募集要項でご確認ください。

【お問合せ先】

帝塚山大学 入試課

Tel 0742-48-9149 (直通) Fax 0742-48-9021

nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

2014年度 大学院入試日程一覧

出願期間 1月27日(月) ~ 2月3日(月)

締切日消印有効

選考日程 2月14日(金)* 合格発表 2月19日(水)

*選考方法については、各学部事務室にお問合せください。

経済学研究科 経済学専攻

博士前期課程・博士後期課程

人文科学研究科 日本伝統文化専攻

博士前期課程・博士後期課程

法政策研究科 世界経済法制専攻

博士前期課程・博士後期課程

心理科学研究科 心理学専攻(心理学専修・臨床心理学専修)

博士前期課程・博士後期課程

お問合せ先

● 経済学研究科 経済学専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

Tel 0742-48-9861 [教学支援課(経済学部)]

● 人文科学研究科 日本伝統文化専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

Tel 0742-48-8150 [教学支援課(人文学部)]

● 法政策研究科 世界経済法制専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

Tel 0742-48-9461 [教学支援課(法学部)]

● 心理科学研究科 心理学専攻

〒631-8585 奈良市学園前南3丁目1-3

Tel 0742-41-4720 [教学支援課(心理学部)]